

平成30年7月13日
四国地方整備局

平成30年7月豪雨に伴う瀬戸内海の漂流物 海洋環境整備船による漂流物の回収状況

- 平成30年7月豪雨に伴い、瀬戸内海には大量の漂流物が流出しており、離島航路の欠航など地域住民の生活に多大な支障が生じています。
- このような生活支援や一般航行船舶の安全確保のため、現在、四国地方整備局では、海洋環境整備船「いしづち」「美讃」「みずき」により漂流物回収を実施しています。

(参考) 四国地方整備局管内の海洋環境整備船

海洋環境整備船「みずき」 (小松島港湾・空港整備事務所)

海洋環境整備船「いしづち」 (松山港湾・空港整備事務所)

海洋環境整備船「美讃」 (高松港湾・空港整備事務所)

- 7月8日(日)から7月12日(木)までの漂流物の回収量をお知らせします。

【回収量 = 582 m³】
10 t ダンプトラックの87台分

これは、過去5年の月平均回収量(約650m³)に迫る量です。



松山沖回収状況 (7月8日)



松山沖回収状況 (7月8日)

○問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課
海洋環境・技術課長 篠原 守昌
電話番号 (087) 811-8334 (直通) (内線 6571)



松山沖回収状況（7月9日）



松山沖回収状況（7月10日）

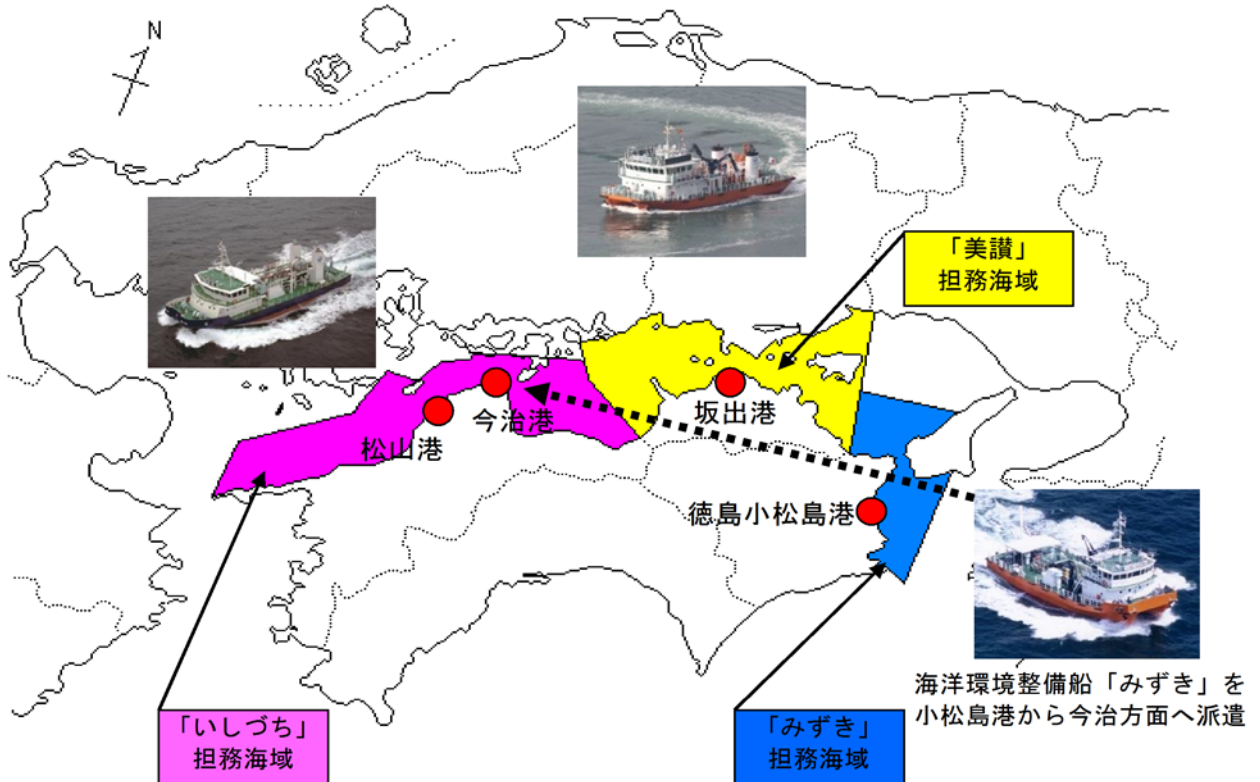


松山沖回収状況（7月12日）



松山沖回収状況（7月12日）

四国地方整備局管内における海洋環境整備船の担務海域



注) みずきは、7月11日から今治方面に派遣中